



2019年9月13日

各 位

上場会社名 ラサ商事株式会社
 代表者 代表取締役社長 井村周一
 (コード番号 3023)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 窪田義広
 (TEL:03-3668-8231 (代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年9月13日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2019年5月13日に公表した2020年3月期の業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期（累計） 連結業績予想数値の修正

(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,000	500	575	390	33.65
今回修正予想 (B)	13,800	750	840	680	58.60
増減額 (B)-(A)	△200	250	265	290	
増減率(%)	△1.4	50.0	46.1	74.4	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	14,761	640	705	506	40.56

2. 2020年3月期通期 連結業績予想数値の修正

(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	32,000	1,900	2,100	1,460	125.95
今回修正予想 (B)	31,000	1,950	2,150	1,610	138.62
増減額 (B)-(A)	△1,000	50	50	150	
増減率(%)	△3.1	2.6	2.4	10.3	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	31,755	2,029	2,264	1,608	132.41

3. 2020年3月期第2四半期（累計） 個別業績予想数値の修正
 （2019年4月1日～2019年9月30日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,400	260	174	14.89
今回修正予想 (B)	8,400	400	386	33.00
増減額 (B)-(A)	0	140	212	
増減率(%)	0.0	53.8	121.8	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	9,248	397	266	21.15

4. 2020年3月期通期 個別業績予想数値の修正
 （2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,500	1,350	904	77.36
今回修正予想 (B)	19,700	1,400	1,070	91.39
増減額 (B)-(A)	△800	50	166	
増減率(%)	△3.9	3.7	18.4	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	19,887	1,514	1,020	83.37

5. 業績予想数値の修正の理由

・連結

(1)2020年3月期 第2四半期（累計）

売上高は、米中貿易摩擦の影響による化成品関連事業や資源・金属素材関連事業の伸び悩みから、若干の下方修正をいたします。利益面では産機・建機関連事業や環境設備関連事業で部品供給やメンテナンスが利益確保に貢献し、プラント・設備工事関連事業では高採算の工事案件が完工したことから、営業利益、経常利益とも大幅に上方修正し、また親会社株主に帰属する四半期純利益は、有価証券売却益を計上することから、更に上方修正をいたします。

(2)2020年3月期 通期

売上高は、米中貿易摩擦が資源・金属素材関連事業や化成品関連事業に影響を及ぼすものと見込んでいるため、下方修正をいたします。利益面では、資源・金属素材関連事業とプラント・設備工事関連事業の取引採算が厳しくなると見込んでいるため、営業利益、経常利益ともわずかな上方修正にとどまり、親会社株主に帰属する当期純利益は、有価証券売却益を計上することから若干の上方修正をいたします。

・個別

(1)2020年3月期 第2四半期（累計）

売上高は、資源・金属素材関連事業の減収を産機・建機関連事業及び環境設備関連事業の増収がカバーすることから、修正はいたしません。利益面では、産機・建機関連事業や環境設備関連事業で部品供給やメンテナンスが利益確保に貢献し、有価証券売却益も計上することから、経常

利益、四半期純利益とも上方修正をいたします。

(2)2020年3月期 通期

売上高は、米中貿易摩擦が資源・金属素材関連事業に影響を及ぼすものと見込んでいるため、下方修正をいたします。利益面では、産機・建機関連事業と環境設備関連事業が堅調に推移する見込みですが、資源・金属素材関連事業の取引採算は厳しくなると見込まれるため、経常利益はわずかな上方修正にとどまり、当期純利益は有価証券売却益を計上することから若干の上方修正をいたします。

(注) 本資料に記載されている業績予想等につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上